



スルガ銀行

ミニディスクロージャー誌 2022

第212期営業の中間ご報告

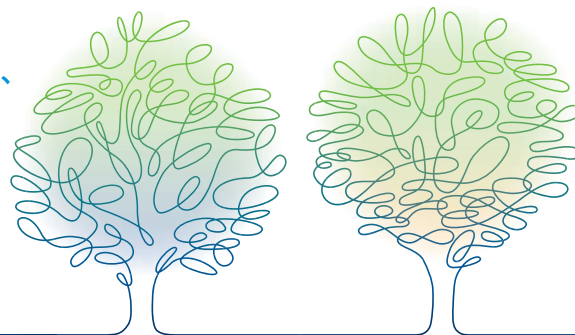
2022

4 / 1 ▶ 9 / 30



あってよかった、 出会えてよかった、 と思われる存在でありたい。

どんなに時代が変わろうとも、どんなに時が経とうとも、
お客さま視点に立ったサービスを追求するとともに、
お客さまの人生に寄り添い、
必要とされる価値と、豊かな暮らしを提供します。



〈私たちの想い〉

私たちは、何よりもお客さまのことを考える銀行でありたい。

お客さまの声に真摯に耳を傾けて、スルガならではの付加価値を提供することで、
お客さまから「あってよかった、出会えてよかった。」と思われる存在を目指します。
お客さまに心から満足していただくためには、
サービスを提供する社員がやりがいを感じていることが不可欠です。
お客さまからだけでなく、社員にとっても、「あってよかった、出会えてよかった。」と
思われる存在になりたい、という想いを込めています。

当社の概要 2022年10月31日現在

設立	1895年(明治28年)10月19日							
本店	静岡県沼津市通横町23番地							
店舗数	国内 116							
	静岡県内	60	神奈川県内	35	東京都内	4	北海道内	1
	埼玉県内	1	千葉県内	1	愛知県内	1	大阪府内	1
	福岡県内	1	インターネット支店	11				
資本金	30,043百万円							

目次

ごあいさつ	2
営業の概況	3
CSR活動・トピックス	8
営業店舗網	9
株式会社についてのご案内	10



ごあいさつ

平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

地域金融機関を取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染拡大の長期化やウクライナ情勢、燃料・原材料等の価格高騰に加え、各国の中央銀行の金融政策の変更に伴う内外金利差拡大や歴史的な円安の進行等の影響もあり、先行きの不透明感が高まっています。

このような中、弊社グループでは2019年11月よりスタートさせた中期経営計画“Re:Start 2025”第1フェーズの最終年度を迎え、店舗業務改革をはじめとした経営資源配分の最適化と、コアビジネスであるリテールバンキングを通じた独自の価値のご提供に向け、邁進しています。

今年度は、コンサルティング機能の更なる高度化に向けて、ソリューションビジネスに特化し、デジタルマーケティングと組み合わせながら、新商品や新サービスを開発、推進する組織として「ソリューションビジネス推進本部」を新設しました。「資産コンサルティング室」と、「ダイレクトバンク」を組み込み、あらゆるタッチポイントにおけるコンサルティング能力の向上を目指してまいります。また、法人、事業主のお客さまに向けては、グループ全体が持つスキル・ノウハウを結集し、グループ全体でオーダーメイド型にソリューションをご提案できる体制を構築するとともに、新たな外部企業等とも連携し、これまでよりも更に充実したご支援を行ってまいります。

弊社グループでは、持続可能な地域社会の実現と企業価値の維持・向上を目指し、弊社グループが優先的に取り組むべき重要課題（マテリアリティ）を策定し、SDGsの達成に向けた取組みを強化しています。今年度も各自治体が



SDGsの達成のために導入している「SDGsパートナー」への登録や、新たな自治体・団体と、地元活性化に向けた「自転車振興に関するパートナーシップ協定」の締結をしました。また、法人、事業主のお客さまのSDGsの取組みをご支援するサービスや、地域の小学生から高校生向けの「金融教育プログラム」のご提供等にも積極的に取り組み始めております。

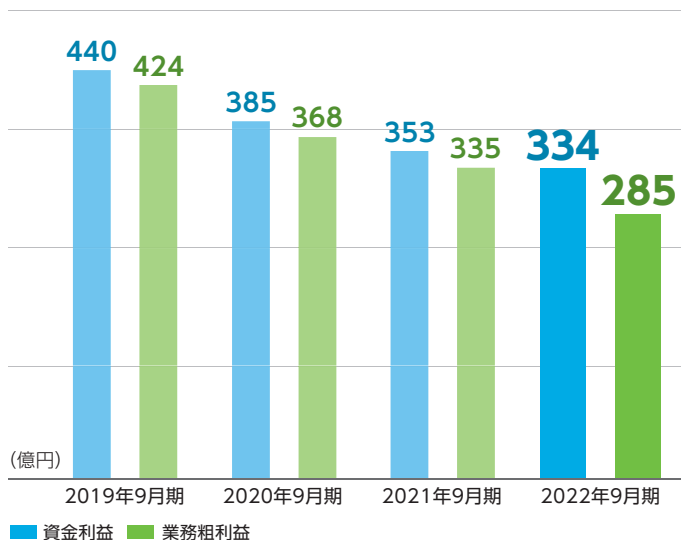
私ども役職員一同は、お客さまお一人おひとりの豊かな暮らしの実現と、地域の豊かな未来の創造に向けて、更なるコンサルティング機能の強化と、ビジネスモデルの変革に取り組んでまいります。

皆さまにおかれましては、今後ともなお一層のご支援と、ご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2022年12月

営業の概況

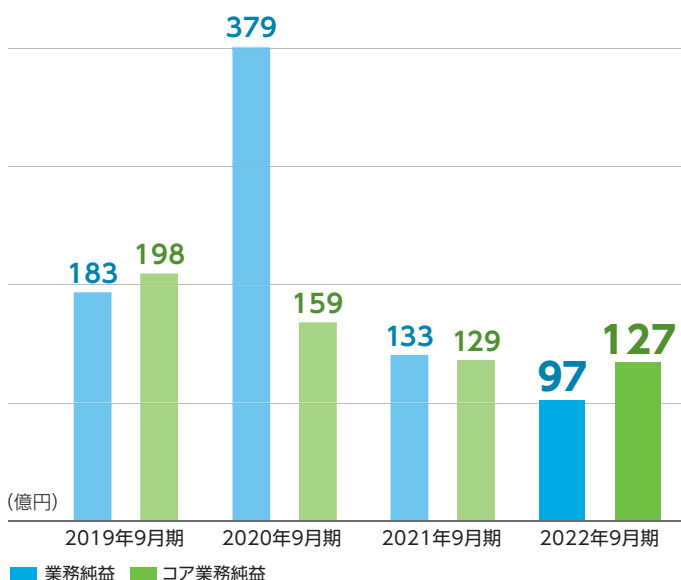
当期の業績につきましては、次のとおりです。



■資金利益／業務粗利益

業務粗利益は、銀行の基本的な業務による利益を表し、貸出金や有価証券、預金等の利息収支を表す「資金利益」、各種手数料収支を表す「役務取引等利益」、国債等債券損益等を表す「その他業務利益」により構成されます。

貸出金利息の減少を主因に、資金利益は前年同期比19億円減少し、334億円となりました。業務粗利益は前年同期比50億円減少し、285億円となりました。



■業務純益／コア業務純益

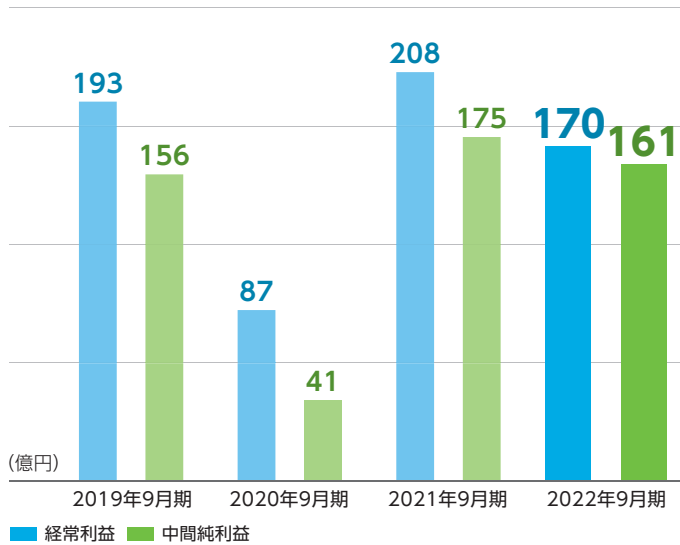
業務純益は、国債等債券損益の減少等により、前年同期比35億円減少し、97億円となりました。

コア業務純益は、貸出金利息の減少に伴う資金利益の減少があった一方、構造改革による経費削減もあり、前年同期比1億円減少し、127億円となりました。

業務純益は、銀行本来の業務に関する収益力を表す銀行固有の指標で一般企業の営業利益に相当するものです。コア業務純益は、業務純益から特殊な要因で変動する一般貸倒引当金繰入額と国債等債券損益の影響を除いたもので、より実質的な銀行本来の業務に関する収益力を表しています。

業務純益 = 業務粗利益 - 経費 - 一般貸倒引当金繰入額

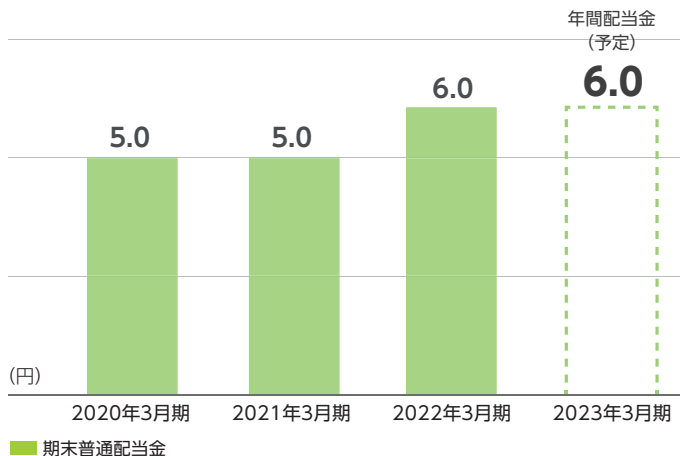
コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益



■ 経常利益 / 中間純利益

経常利益は、株式等損益の増加はあるものの、実質与信費用の増加等により、前年同期比38億円減少し、170億円となりました。

中間純利益は、上記要因があった一方で、法人税等合計の減少等もあり、前年同期比14億円減少し、161億円となりました。

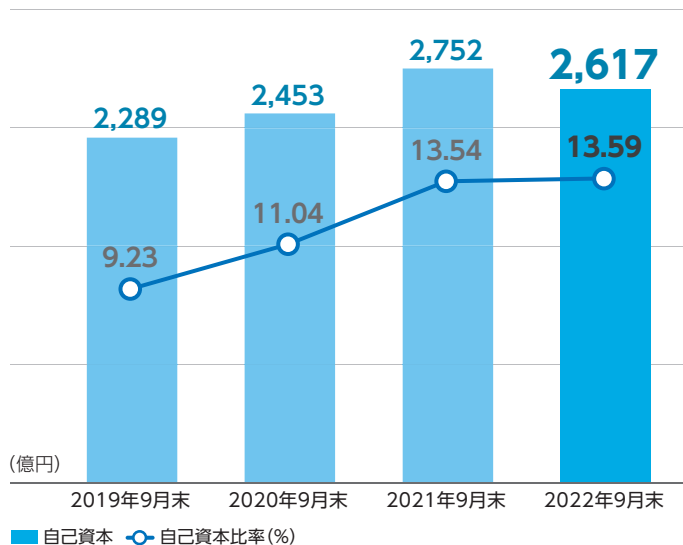


■ 一株当たり年間配当金

中間配当は、通期の収益見通しや今後の財務状況等を考慮し、無配とさせていただきます。

当期末配当は1株当たり6円を見込んでおります。

営業の概況



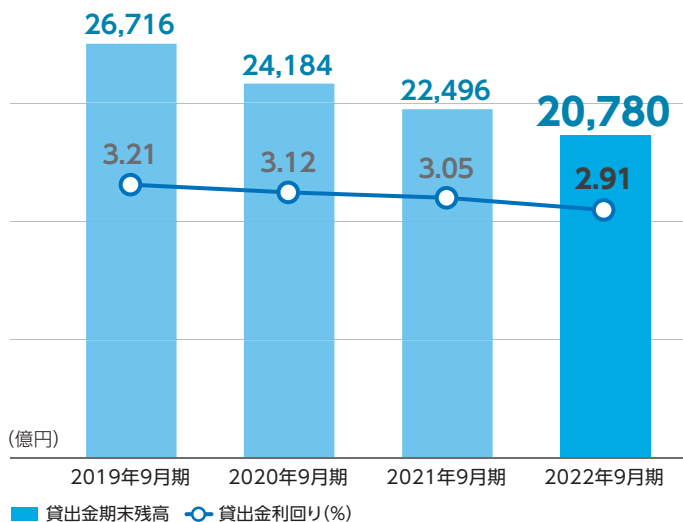
■自己資本／自己資本比率(国内基準)

経営の健全性を示す自己資本比率につきましては、自己株式の取得により、自己資本が減少したものの、リスクアセットの減少等により、前年同期末比0.05%上昇し、13.59%となりました。

自己資本は〈コア資本に係る基礎項目〉から〈コア資本に係る調整項目〉を控除して算出しております。

当社の〈コア資本に係る基礎項目〉は資本金、資本剰余金、利益剰余金等と一般貸倒引当金により構成しております。

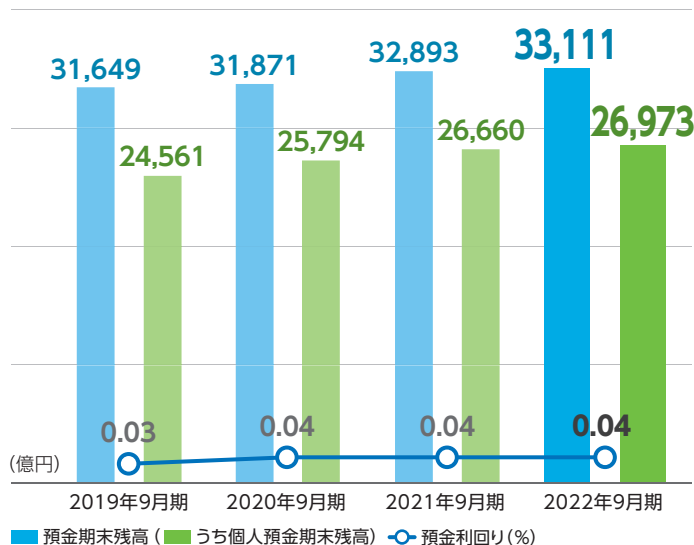
自己資本比率=自己資本額(コア資本に係る基礎項目-コア資本に係る調整項目)/リスクアセット等×100



■貸出金期末残高／貸出金利回り

貸出金期末残高は、前年同期末比1,716億円減少し、2兆780億円となりました。

また、貸出金利回りは前年同期比0.14%低下し、2.91%となりました。

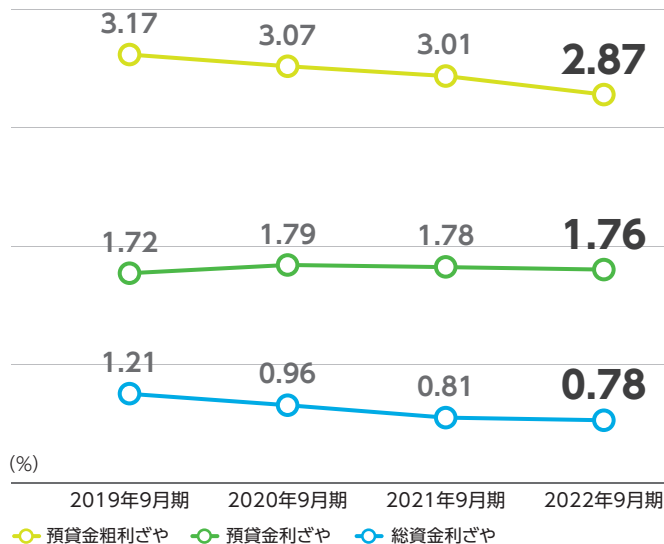


■ 預金期末残高／預金利回り

預金期末残高は、前年同期末比218億円増加し、3兆3,111億円となりました。

個人預金期末残高は、前年同期末比312億円増加し、2兆6,973億円となりました。

預金利回りは前年同期比横ばいで、0.04%となりました。



■ 預貸金粗利ざや／預貸金利ざや／総資金利ざや

預貸金粗利ざやは、貸出金利回りから預金利回りを控除した、銀行における主要事業の収益性を表すものです。

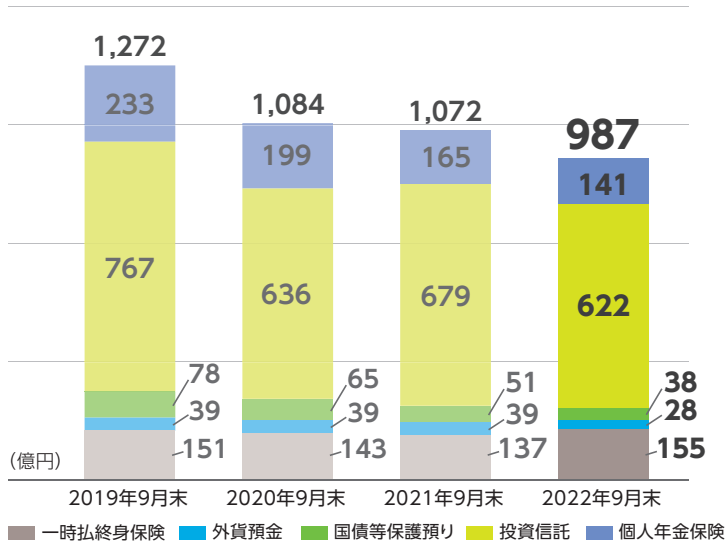
預貸金利ざやは、預貸金粗利ざやからさらに経費率を控除したものです。

総資金利ざやは、資金運用全体と資金調達全体の利回りの差を表すものです。

総資金利ざやは、資金運用利回りの低下を主因に、前年同期比0.03%縮小し、0.78%となりました。

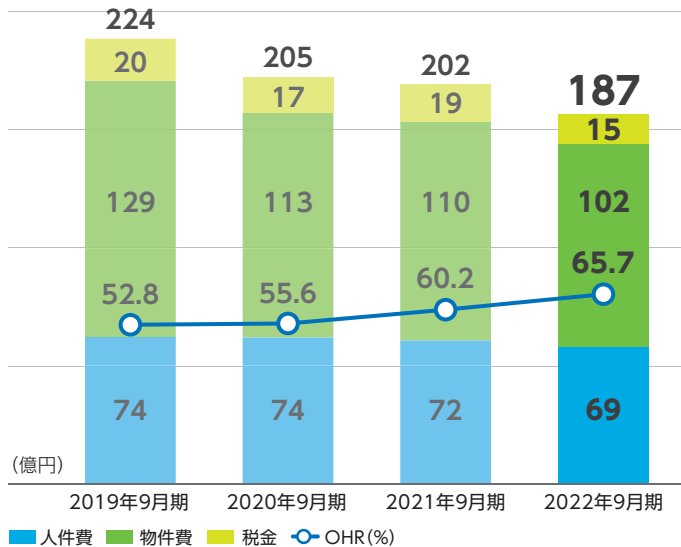


営業の概況



■個人預り資産期末残高(投資性商品)

個人預り資産の期末残高は、投資信託の減少等により、前年同期末比85億円減少し、987億円となりました。



■経費/OHR

経費は、前年同期比14億円減少し、187億円となりました。業務の効率性を示す指標であるOHR(オーバーヘッドレシオ)は、業務粗利益の減少により、前年同期比5.5%上昇し、65.7%となりました。

$$\text{OHR(オーバーヘッドレシオ(\%))} = \text{経費} / \text{業務粗利益} \times 100$$



ファイナンシャル・インクルージョンへの取組み

あらゆる人々が生涯にわたり経済的に安定した生活を営むことができる社会であるために、ファイナンシャル・インクルージョン（金融包摂）の実現に向けた取組みを行っています。

- 2022年5月より、「Dバンク支店」にて、地銀初※となる外国籍のお客さまがスマートフォンで口座開設ができる普通預金口座の取扱いを開始いたしました。今後も外国籍の皆さまの生活の質向上につながる商品・サービスの拡充を検討してまいります。

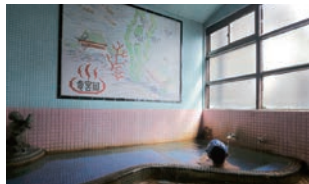
※当社調べ

- 2022年5月より、資産コンサルティングの一環として終活支援サービス「結美(musu-bi)」の取扱いを開始いたしました。人生100年時代における生活設計とあわせて、自分らしい「人生の結びかた」を考えるためのお手伝いをさせていただきます。

地元観光事業者の皆さんを応援する取組み

地元観光地の活性化を目的として、温泉に精通した当社の社員が“温泉部長「井伊湯種(いいゆだね)」”というペンネームで伊豆・箱根・湯河原等の地元エリアの温泉施設や飲食店、観光スポットの情報をホームページ上で発信しています。

すでに330か所以上の「地元のよいとこ」をご紹介します。今後も新たなレポートを追加してまいります。



龍宮閣（熱海温泉：熱海市）



福住楼（箱根塔ノ沢温泉：箱根町）

詳細は以下でご覧いただけます。

井伊部長の
温泉グルメ探訪



いいゆだね スルガ

検索



サッカーに集まる“夢”を応援

静岡県沼津市を本拠地とする、静岡県東部地域初のJリーグクラブチームである「アスクラロ沼津」の熱い挑戦を地域の皆さまとともに応援しております。

また、未来のJリーガーたちが競い合う「スルガカップ」各大会のスポンサー活動を通じ、地域のスポーツ振興および発展に向け取り組んでまいります。



アスクラロ沼津



スルガCUP静岡県

チャイルドサッカー大会 in 御殿場

自転車振興による地域連携

地域の観光資源と連携したサイクルツーリズムの推進により、新たな観光価値の創造を目指すとともに、自転車の機動性を活かしたきめ細やかな観光情報の発信をすることで、地元のサービス業、観光業を支援しております。

2022年度は5つの自治体や民間企業と「自転車振興に関するパートナーシップ協定」を締結いたしました。



Fujiyama Power-line Trail Ride



ふじさわキュン♡ぼた

詳細は以下でご覧いただけます。

スルガ銀行
サイクリング
プロジェクト



Web Facebook Twitter Instagram note



営業店舗網(116か店)

(2022年10月31日現在)

●静岡県(60か店)

本店営業部
沼津市役所出張所
沼津駅支店
沼津港支店
沼津南支店
沼津セントラル支店
沼津岡宮支店
沼津青野支店
沼津原町支店
三島セントラル支店
三島支店
長泉支店
清水町支店
徳倉支店
函南支店
伊豆長岡支店
修善寺支店
中伊豆支店
熱海支店
熱海駅支店
伊東支店
伊東駅支店
伊豆稲取支店
下田支店
松崎支店

御殿場駅支店
御殿場西支店
御殿場東支店
小山支店
裾野支店
富士吉原支店
富士支店
富士鷹岡支店
富士宮支店
清水支店
清水駅支店
清水三保支店
清水高橋支店
興津支店
草薙支店
静岡支店
静岡県庁支店
静岡南支店
静岡東支店
東静岡支店
(2022年11月21日静岡支店に統合予定)
焼津支店
岡部支店
藤枝支店
島田支店
金谷支店

榛原支店

相良支店
掛川支店
掛川駅前出張所
(2023年2月20日掛川支店に統合予定)
袋井支店
磐田支店
浜松支店
浜松追分支店
浜松北支店
天竜支店

●神奈川県(35か店)

横浜支店
神奈川県庁出張所
横浜東口支店
横浜日吉支店
横浜戸塚支店
横浜弥生台支店
横浜若葉台支店
横浜磯子支店
横浜六ツ川支店
横須賀支店
横須賀武山支店
久里浜支店
三浦海岸支店
藤沢支店

鎌倉支店

湘南ライフタウン支店
湘南台支店
辻堂支店
茅ヶ崎支店
茅ヶ崎鶴が台支店
浜見平支店
平塚支店
厚木支店
厚木鳶尾支店
相模原支店
東林間支店
中央林間支店
海老名支店
秦野支店
小田原支店
小田原東支店
大井松田支店
南足柄支店
箱根支店
湯河原支店

●東京都(4か店)

東京支店
ANA支店 Financial Center
渋谷支店
新宿支店

●広域店(6か店)

札幌支店
大宮出張所
千葉出張所
名古屋支店
大阪支店
福岡支店

●インターネット支店(11か店)

ANA支店
Tポイント支店
リクルート支店
Dバンク支店
ドリームダイレクト支店
ソネット支店
(2023年3月13日Dバンク支店に統合予定)
ダイレクトワン支店
イービジネスダイレクト支店
タウンネットワーク支店
ハウジングローン支店
個人専用支店

ATMネットワークのご案内



セブン銀行ATM



イーネットATM



ゆうちょ銀行ATM



イオン銀行ATM



タウンネットワークATM



株式についてのご案内

◇ 決算日

毎年3月31日をもって決算を行います。

◇ 定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

◇ 基準日

定時株主総会については、毎年3月31日といたします。
その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

◇ 剰余金配当基準日

3月31日(期末配当) 9月30日(中間配当)
そのほか、当社が定めた基準日

◇ 公告の方法

電子公告といたします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって、電子公告による公告ができない場合には、日本経済新聞に掲載いたします。

◇ 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

日本証券代行株式会社
事務取扱場所 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
日本証券代行株式会社 本店
連絡先 〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
日本証券代行株式会社 代理人部
☎0120-707-843

特別口座での手続用紙のご請求をインターネットでも受付いたしております。

<https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>

(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)

◇ 単元株式数について

当社の単元株式数は、100株であります。

◇ お知らせ

- (1) お届け内容(ご住所、配当金振込先等)の変更、ご相続、その他諸手続について
一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱っております。
特別口座の株主さまは、特別口座の口座管理機関日本証券代行株式会社へお問い合わせください。
- (2) 未受領の配当金の受取について
株主名簿管理人日本証券代行株式会社までお問い合わせください。
- (3) 単元未満株式(100株未満の株式)の買取・買増請求について
一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱っております。
特別口座の株主さまは、特別口座の口座管理機関日本証券代行株式会社へお問い合わせください。
- (4) 特別口座から一般口座への振替申請手続について
特別口座の口座管理機関日本証券代行株式会社へお問い合わせください。
注)特別口座のままでは市場において株式を売却することはできませんので、必ず証券会社に一般口座を開設(既に開設されている場合は不要)し、特別口座から一般口座へ振替申請を行ってください。

詳しい内容、お問い合わせは

アクセスセンター ▶ ☎0120-50-8689 月～金曜日(祝日を除く)
9:00～17:00

ホームページ ▶ <https://www.surugabank.co.jp>

緊急連絡先のご案内

キャッシュカード・通帳・印鑑を紛失された際は、直ちにお取引店または以下緊急サポートセンターへご連絡ください。

スルガ銀行緊急サポートセンター ☎055-987-8182 24時間365日(有人受付) 同時に最寄りの警察にもお届けください。



スルガ銀行